

トピックス



大阪府北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

山地災害に備える

山地災害防止キャンペーン 5月20日から6月30日まで

【治山課】

日本では年間平均で約2,100箇所（平成26年～平成30年の5ヶ年）もの山地災害が発生し、人命や財産に甚大な被害をもたらしています。

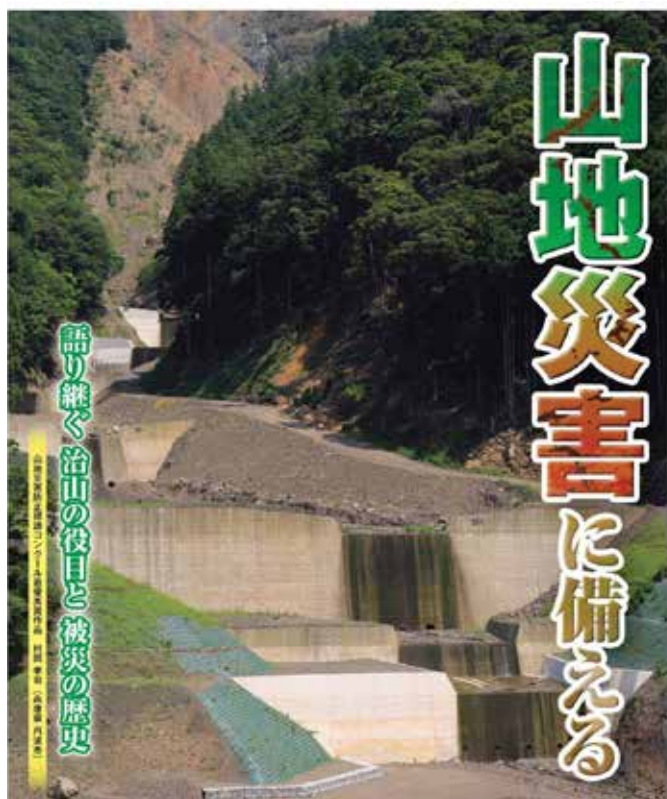
梅雨期を迎え、林野庁近畿中国森林管理局では、防災について呼びかけるPRポスターの掲示や、関係機関や地域住民の皆様などの協力を得ながら、危険箇所の周知や山地防災パトロールの実施に取り組むなど、山地災害を未然に防止する「山地災害防止キャンペーン」を実施しています。

日本の国土は、四季折々に豊かな自然に恵まれている一方で、多雨気候であり、また、険しい山が続く複雑な地形や大陸プレートと海洋プレートの境界に位置し、地震や火山活動も活発であるため、山崩れや土石流などの山地災害の危険を常に抱えているといえます。

昨年は、平成30年7月豪雨災害等により、管内各地で多数の山地災害が発生し、地域住民の方々の暮らしに多くの被害を与えました。近年は、局地的な集中豪雨が頻発する傾向が強まっており、地域によってはこれまでにない激甚な災害が発生するおそれもあります。

このため、山地災害から命を守るためには、お住まいの地域の山地災害が起こりやすい場所を調べておく、地域の防災マップ等で緊急時の避難場所、避難経路を確認しておくなど、日頃からの山地災害への備えが重要となっています。

引き続き、治山対策の推進や国有林の管理経営を通じて、多様で健全な森林を育てることにより、災害に強い地域づくりに向けて全力で取り組んでまいります。



令和元年度 山地災害防止キャンペーン

写真は奈良県十津川村

危険箇所を知ろう!

あなたの町に山地災害のおそれのある危険な箇所がどこにあるのかを知っておくことは、災害に備えるためにとても大切です。都道府県や森林管理局では、このような箇所を「山地災害危険地区」として把握しています。身近に危険な箇所があるかどうか、日頃から防災マップなどで確認しておきましょう。



山くずれ

- ときどき落石がある
- 過去に山くずれがあった
- 山の斜面に亀裂やわき水がある
- 岩石がもろく、くずれやすい地質である
- 急斜面で、軟弱な地盤がある
- 水の集まりやすい斜面地形である

【山くずれ】

雨水が地中にしみ込んだり、地震などにより、山の斜面が突然くずれ落ちる現象です。

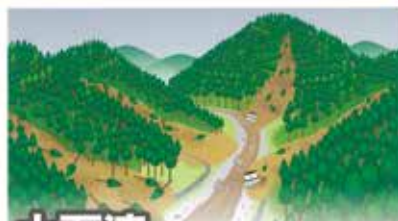


地すべり

- 過去に地すべりのあったところで、今も少しずつ動いている
- 山の斜面に亀裂や段差がみられる
- わき水や地下水が豊富である
- 断層や、もろく、くずれやすい岩石がある
- 火山や温泉の影響で粘土化した土がある

【地すべり】

地下水などの影響により、粘土質の土をすべり面として山の斜面がゆっくり移動する現象です。



土石流

- 過去に土石流があった
- 溪流が急で大きな石やたくさんの土砂がある
- 上流が山くずれなどで荒れている

【土石流】

山の斜面から崩れた土砂や谷の土砂・石などが、大雨などによって水といっしょに一気に下流に押し流される現象です。



山地災害の危険信号を見逃すな!

8つの危険信号に注意して下さい。

山地災害が起こる多くの場合、山の斜面や川の流れをよく観察してみると、事前に危険信号と思われる変化がキャッチできます。特に次の8つの危険信号に注意して下さい。



危険信号をキャッチしたら!

山くずれなどのおそれがある箇所では、テレビなどの気象情報に注意しましょう。



すぐ避難

危険を感じたり、夜間等から連絡があったら早めに指定された場所へ避難しましょう!



すぐ通報

災害が起こったら、すぐに110番か119番に通報しましょう!



あぶない!

災害の危険がある場所には近づかないようにして下さい!



ふだんから

家族や地域ぐるみで山くずれのおそれがある場所や避難場所について話し合うとともに、実際に自分の目で確認しておきましょう。



治山事業により災害箇所の復旧を実施しています

奈良県十津川村（奈良森林管理事務所）【紀伊半島大水害（平成 23 年 9 月 台風 12 号）】



被害発生状況



復旧工事完成（山腹工事）

和歌山県田辺市（和歌山森林管理署）【紀伊半島大水害（平成 23 年 9 月 台風 12 号）】



被害発生状況



復旧工事完成（溪間工事）

広島県東広島市（広島森林管理署）【平成 30 年 7 月豪雨（平成 30 年 7 月）】



被害発生状況



現在、土砂流出防止のための大型土のうにより応急対策を実施
今後、本格的復旧工事を進めます

ニュース

広島市内「平成26年豪雨災害」 復旧状況報告会を実施

【広島森林管理署】

5月25日（土）に、平成26年8月に発生した広島豪雨災害にかかる復旧状況報告会を高松山国有林及び犬^{いぬ}戻^{もどり}なるやま山国有林で開催しました。

広島県では平成30年7月に豪雨災害を受けましたが、5年前の平成26年にも広島市安佐北区、安佐南区を中心に大規模な土砂災害に見舞われました。

高松山国有林においては、複数の土石流が集中して発生し下流の工場、民家等に土砂を流出させ、甚大な被害を与えました。



被害直後の高松山国有林 (H26.8.20) の状況

この災害の復旧にあたり、広島森林管理署では災害復旧事業で8基の治山ダムと約1.0 haの山腹工を緊急的に整備しました。その後も、計画的に施設整備を進め、更に溪間工7基、山腹工5箇所、落石対策2箇所などの対策を実施しました。

この度、計画した事業が概ね完了したことから地元住民の皆様へ事業の報告と治山事業のPR、また5月20日から始まった山地災害防止キャンペーンの一環として、土石災害

にかかる啓蒙活動も合わせ開催しました。

当日は、地元の自治会を中心に9名の参加があり、治山事業の概要の説明、土石流対策として設置した治山ダムの効果等を災害復旧工事を実施した現地に案内して説明を行い、復旧状況を確認していただきました。

参加者からは、「治山ダムはどのような機能があるのか、砂防ダムとの違いは何か」など質問があり、地元設置された治山施設への関心の高さがうかがわれました。

また、山地災害防止キャンペーンの一環として、降雨時の早期避難及び高松山国有林にある危険地区の話を職員が行うと、目前に迫った梅雨や台風シーズン時は空振りに終わっても警報が発令されたら早めに避難したいとの話もあり、ハード対策とともにソフト対策の必要性についても一定の理解が得られました。

広島森林管理署では、平成26年8月豪雨災害の対策を引き続き継続しつつ、平成30年7月豪雨災害の災害復旧工事を推進していくこととしています。



工事の概要について説明を受ける地元のみなさん

「国民の森林づくり推進功労者」 「吉田寿会」に林野庁長官感謝状

【島根森林管理署】

島根県安来市上吉田地区の60才以上のじいちゃん、ばあちゃんて構成する「吉田寿会」に対して、国有林と連携した国民の森林づくり活動に尽力され、森林・林業の発展に貢献が認められたことから、林野庁長官から感謝状の贈呈があり、5月31日（金）に島根森林管理署の会議室で伝達を行いました。

「吉田寿会」は平成2年から現在に至り、安来市に所在する吉田国有林で地元安来市立南小学校の児童を対象に森林教室や、シイタケ原木への植菌作業の指導、植樹した樹木の手入れ等の森林整備などの体験林業を行ってきました。



「吉田寿会」の山田会長から、「林業の経験者である地元の高齢の方が中心となって、2代、3代と続く次世代を担う児童たちに林業や森林環境について伝えることが出来たことは意義あることだった。その中で、会の活動が認められたことは大変うれしいことで、引き続き努力を重ねて行きたい」と感謝を述べられました。

当日は地元ケーブルテレビ「やすぎどじょっこテレビ」の取材があり、また安来市役所からも市広報の掲載のための取材を受けました。



「吉田寿会」の山田会長（左）と中本署長



ひかり幼稚園 が「森の幼稚園」 何を見つけたのかな？

【奈良森林管理事務所】

5月25日（土）に、奈良市の大亀谷国有林に設定している「遊々の森」において、ひかり幼稚園の「森の幼稚園」が開催されました。

このイベントは、毎年春と秋に行われる森について学ぶ恒例行事で、今回は年長さん園児33名とその保護者や家族、また、スタッフとして当所から3名、赤膚ネイチャークラブ、地元自治会からも多くの参加をいただき、総勢約80名が参加しました。

柴田園長の挨拶の後、森林技術指導官から、森に入る前の注意事項として、森の中での危険な生き物であるハチ、マムシ、マダニやトゲのある木、かぶれる木など、写真を用いて説明しました。



写真で森の中の危険なものを説明

次に2班に分かれて、親子でフィールドビンゴの題目を見つけながら森の散策を行いました。普段はなかなか来る機会のない森を親子で歩きながら、キノコやアリ、鳥の声など、ビンゴの題目を次々に見つけていましたが、「いい匂いのするもの」を見つけるのには、みなさん苦労しているようでした。しかし、散策の最後のほうでサンショウの木を見つけ、

葉っぱの匂いを嗅いだ園児からは、「これはいい匂いかな・・・？」などの声が聞かれました。



ビンゴをしながら森を散策

散策の最後に、林内の広場で調整官から、「森のおはなし」としてシカの話などをしました。奈良公園では、神様の使いとして大切にされているシカですが、最近、全国の森ではシカが増えすぎて困っていることや、知恵を出して色々な対策を行っていることを写真で説明しました。また、広場に生えているヒノキの年齢がだいたい80歳であること話すと、「おじいちゃんよりも年上やなあ」など、親子とも驚いた様子で木を見上げていました。



「森のおはなし」はわかったかな？

話の後は、みんなで国有林の出口に向かって出発し帰路につきました。当日は5月とは思えない暑さでしたが、子どもたちは約1時間の森の散策を頑張りました。ぜひまた、森に遊びに来てくださいね。

木の香り、木のぬくもりにつつまれて “木育わくわくひろば@北房小学校”

【岡山森林管理署、森林技術・支援センター】

5月25日（土）に、岡山県真庭市立北房小学校において、北房小学校PTA主催、にいまみ木のおもちゃの会企画の『にいまみ木にかかわりビトプロジェクト“木育わくわくひろば@北房小学校”』が開催され、岡山森林管理署と近畿中国森林管理局森林技術・支援センターも連携してブースを出展し、職員7名がスタッフとして参加しました。

北房小学校は、平成30年3月に竣工された小学校で、バイオマス発電所やCLT工場などで知られる真庭市産のCLT材をふんだんに用いて建設され、冷暖房の稼働には、木質ペレットを燃料としたボイラーが完備されているなど、木育のステージにぴったりの小学校です。

また、こども園が隣接されており、0歳～12歳の子供たちが過ごすことのできる教育施設となっています。



オープニング

イベントには、全校生徒、保護者など約400名と、にいまみ木のおもちゃの会メンバー及び協力スタッフ約60名の総勢約460名が集い、木育をテーマに様々なブースを出展し、交流を深めました。

私たちのブースは、短く切った丸太をテーブルに並べ、木の名前を当てる「木のクイズ」と、枝の形を利用して作るマスコットの「モックンづくり」を出展しました。

クイズでは、「サクラってこんな木なの!?!」「どんぐりの木、初めて見た!」と言いながら興味津々に木と向き合い、スギとヒノキの違いが分からず、「におい嗅いででもいい?」と直接木とふれあい、終始きらきらした瞳で木の名前を見つけていました。正解者には職員お手製の木工品をプレゼントし、大盛り上がりでした。



モックンづくりで賑わうブース

木工体験では、自分で枝を選んで切って削って、楽しそうに取り組む子どもたちばかりで、「鼻をもう少し短くしたい!」「細い枝を使いたい」など試行錯誤しながら、こだわりのモックンができあがっていました。

とても立派な木造校舎で過ごす子どもたちに、木の良さ、面白さを改めて体で感じてもらい、木や森林に対しての興味関心を少しでも多く持ってもらうことで、更にのびのびと成長してほしいと感じたイベントでした。

お知らせ

～鳥取森林管理署の
庁舎を移転します～

- 庁舎移転日：7月1日（月）
- 新庁舎住所：
〒680-0842
鳥取県鳥取市吉方 109
鳥取第3 地方合同庁舎 2 階
- 連絡先は現状と変更はありません。
電話番号 IP 050-3160-6125
NTT 0857-23-5411
FAX 0857-23-5412
- なお、鳥取森林事務所も合わせて上記住所へ
移転となります
電話番号 0857-22-6395

QRコードで場所が
確認できます



森林のギャラリー（同庁舎1階）

～ムシしちゃだめよ、この虫たち～

平成24年に日本で初めて発見されて以来、全国各地のサクラなどに脅威を与えている特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」にスポットをあて、成虫の標本や駆除の方法などを紹介しています。

春の風物詩でもあるお花見の文化を守るためには駆除が必要です。

- 展示期間：6月3日（月）～6月28日（金）
- 展示内容
クビアカツヤカミキリ等の成虫の標本展示
や駆除方法などのパネル展示



このムシを見かけたら要注意！

我が署のスタッフ

福井森林管理署

しづかにけいこ
滋谷圭吾

（平成30年度採用）

【業務内容】

現在、私は治山グループ土木担当として林道工事監督、林道維持・管理、保安林関係事務を行っています。林道管理は自然を相手にすることなので、台風被害や路肩崩壊など様々な問題が発生します。それによって、林道の利用者に危険が及ぶことがあります。そのようなことを未然に防ぐほかに、国有林野事業に欠かせない森林整備等が円滑に行えるように林道の修繕や新設を行います。土木担当者として、自分が監督した林道が長い期間にわたって使用されることは、責任もありますが、非常にやりがいのあることだと思います。

【職場の雰囲気】

滋賀・福井の2署を経験しましたが、どちらも職員は20名ほど、30歳以下は3～5名しかいません。人数が少なく、年齢層の高い職場ですが優しい人が多く、働きやすい環境にあると思います。

【林野庁の魅力】

魅力としては2点あり、技術系・事務系での採用を問わず様々な職種に配属されること、自分たちで現場対応することがあることです。特に、後者では倒木処理や林道修繕などを職員実行することがあり、体を動かすことが好きな自分には楽しめています。



上司からのアドバイスを受ける筆者（右）



わたしの
美しの森
フォトコンテスト

日本各地の森の魅力を伝える写真を募集します。

あなたのとおきのお森、
魅せてください。



募集部門

- ① 景観部門：森の絶景・森から見える眺望など、森の風景を撮影したもの
- ② 生命部門：森で育まれる生物（昆虫・動植物）の生命・営みをテーマに撮影したもの
- ③ 生活部門：森での体験・活動や森から産出された木材等を活用した風景をテーマに撮影したもの

募集期間

令和元年6月3日(月)～令和元年10月7日(月)(当日消印有効)

応募資格・方法

- どなたでも応募できます。
- お一人につき1部門1点、合計3点まで応募できます。組写真、加工・編集された画像のものは、不可とします。
- プリントでの応募のみとします。(サイズ:キャビネ・2Lサイズ(127mm×178mm) からワイド四つ切サイズ(254mm×366mm)までの大きさ(B5六つ切、A4、四つ切を含む))
- カラー、モノクロいずれも応募可能です。
- 応募作品の返却はいたしませんので、あらかじめ御了承ください。
- 写真の撮影時期は、平成28年(2016年)1月1日以降のものとします。
- 未発表で、かつ、応募者が一切の著作権を有しているオリジナル作品に限ります。

審查方法

審査会（令和元年11月下旬開催予定）において、決定します。

審査員：米 美知子氏（写真家）、福田 幸広氏（写真家）
 牧元 幸司（林野庁長官）、実行委員会、協賛企業代表者、
 各森林管理局長

表彰

- 林野庁長官賞（1点）
- 協賛企業特別賞（1点以上）
- 審査員賞（1点以上）
- 審査員特別賞（1点）
- 部門優秀賞（3点以上）
- 森林管理局長賞（7点）

審査結果等

審査結果は、表彰式において発表します。（入賞者には、事前に直接、内定の御連絡をいたします。）また、表彰式以降、林野庁HPでも公表します。

表彰式

日 時：令和2年2月（開催予定）（上位入賞者には、別途、開催日時を通知します。）

場 所：株式会社内田洋行 新川本社（ユビキタス共創広場CANVAS）
備 考：上位入賞者には、表彰式への参加を御案内します。

これ以外の入賞者については賞状及び副賞を郵送します。

送り先

〒100-8952 東京都千代田区霞が関1-2-1
林野庁「わたしの美しの森 フォトコンテスト」係
※ 郵送・宅配便にてお送りください。直接のお持ち込みはお断り申し上げます。

主 催 者：わたしの美しの森 フォトコンテスト実行委員会

実行委員会：一般社団法人 全国森林レクリエーション協会  一般財団法人 日本森林林業振興会  公益社団法人 国土緑化推進機構  一般社団法人 全国木材組合連合会  一般社団法人 日本治山治水協会

 一般社団法人 全国山打振興連盟  一般社団法人 全国林業改良普及協会  林野庁  Recreation Partners of JAPAN

特別協賛：キヤノンマーケティングジャパン株式会社

協賛・協力企業：

味の素株式会社

amino
vital

三井住友信託銀行
Sanwa Bank

UCHIDA

Nice ナイス
すてきなグループ

Mi

KEEN

THULE

IWATANI-PRIMUS
イワタニ・プリムス株式会社

nisshin 日清食品ホールディングス

ブルボン

ITOKI

応募方法はこちらをご覧ください。



シリーズ『国有林 最前線！』

和歌山森林管理署の取組

和歌山県は温暖多雨で自然条件が林木の生育に適し、古くから「紀州木の国」といわれる林業経営の先進地域であり、県のうち森林が約77%を占めています。

このうち、森林に占める国有林の割合は、約5%と少ないですが、その多くが紀伊半島の屋根となっている紀伊山地に点在し、紀伊水道及び熊野灘に注ぐ大小幾多もの河川の重要な水源となっています。また、一部は世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」である神社仏閣の借景となっているなど、遺産の構成に重要な国有林もあります。さて、今年度の和歌山森林管理署においては、下記の事項を中心に、公益重視の管理経営及び民有林との連携に取り組んで参ります。

【民有林直轄治山事業の計画的な実行】

平成23年9月上陸の台風12号は、紀伊半島南部を中心に各地に激甚な山地災害をもたらしました。特に災害規模が大きい6地区（本田垣内、愛賀合、上平治川、八升前、下モ谷西側、上秋津）について、和歌山県・田辺市と連携を密にして民有林直轄治山事業を継続して実施します。



山腹工事施工後の様子

【低コスト造林の推進】

平成30年度に開催した「新たな低コスト造林現地検討会」で検証を行った一貫作業※による地拵、植付、下刈の削減等の低コスト造林手法を民有林に普及します。また、二ホンジカの被害対策の効果をより高めるため、新たな防護柵の開発と試行、捕獲方法の開発などに取り組めます。

広島森林管理署 福山森林事務所 地域統括森林官 石井勝彦

当事務所が管理している国有林は福山市内に23の団地があり面積は約2,314ha、東は岡山県に、南は瀬戸内海に面しています。管内には北部に青滝山、藤掛山、久賀山国有林とその周辺地域を含む311haが「山野峡県立自然公園」に指定され、園内には約400人が収容可能なキャンプ場があり、夏になると多くのキャンパーで賑わっています。

また、瀬戸内海に面する鞆地区は、全国的にも有名な「鞆の浦」を有しています。鞆の浦へは福山市内中心部から、昭和49年に観光道路として開通した約14kmの「福山グリーンライン」で行くことができます。春には道沿いに、見事な桜が一斉に咲きそろいます。この「福山グリーンライン」は彦山、鍛冶屋山、茂浦山、鰯掛山、後口山の計5つの国有林を縦断する形で繋がれ、「鞆の浦」を一望することが出来ます。

その昔、鞆の浦は海上交通の要として、瀬戸内海で最も栄えた港町の一つであり、「潮待ちの港」としても有名です。その瀬戸内の美しさと小さな町の暮らしの中で息づく伝統文化が認められ、2018年5月に鞆町の港町文化をテーマとしたストーリーが「日本遺産」に認定されました。そのタイトルは、「瀬戸の夕凧（ゆうなぎ）が包む 国内随一の近世港町 ～セピア色の港町に日常が溶け込む鞆の浦（とものうら）～」であり、現在、国の「重要な伝統的建造物群保存地区」、ユネスコの「世界の記憶」と3つの評価を受けているのは、国内唯一となっています。

機会があれば瀬戸内の美しい海と、緑豊かな山々に挟まれた、昔ながらの風情ある港町を散策されてみてはいかがでしょうか。



常夜燈

鞆の浦